

# おひさま

No. 9 H28. 5. 18

## 気付き 考え 行動する

### ～自主学習から考えてみると～

今年、新井南小学校では、「気付き、考え、行動する」ことに力を入れて取り組んでいます。

そこで、先日子どもたちに配った「自学ノート」の使い方や、自主学習のやり方から「気付き、考え、行動する」ことについて考えてみたいと思います。

家庭学習には様々な学習があります。5年生は60分以上が原則です。まずは宿題です。各教科から出された宿題は優先的に（必ず）取り組みます。宿題に必要な時間はそれぞれによって異なりますし、毎日60分の宿題が出るとも限りません。そこで、次は自主学習です。

自主学習にもいくつかの課題が考えられます。計算や漢字などのドリル学習、音読や読書。そして、「自学ノート」の取組です。「自学ノート」は主に調べ学習を中心に行います。

子どもたちは、日々の学習の中でいろいろなことを学び、いろいろなことに気付きます。その気付きを是非大切に、「自学ノート」の取組に生かしてもらいたいと思います。

### 例) 社会科で考えると…

#### 社会科での学び

日本の農業には様々な問題がある…

- 農業従事者の高齢化
- 跡継ぎがない…
- 消費量が減っている…
- 価格の自由競争
- TPP

「昔は、米ができたらJAに出荷していたけど、今は、自由に販売をしていることが分かりました。」

Q：そのメリットは何だと思えますか？

「自由販売は、その農家の人々が値段を決められます。その農家自身が自分がおいしいと思えるお米を作れたら、高い値段をつけられます。」

「分かったことは、田んぼが減っていることです。なぜかという、若い人が農業ではなく、会社に入っているからです。」

Q：それはなぜだと思えますか？なぜ農業をしないのでしょうか？

「土地や機械が高くて買えないからだと思えます。」

Q：では、どうしたら若い人が農業をしてくれるのでしょうか？

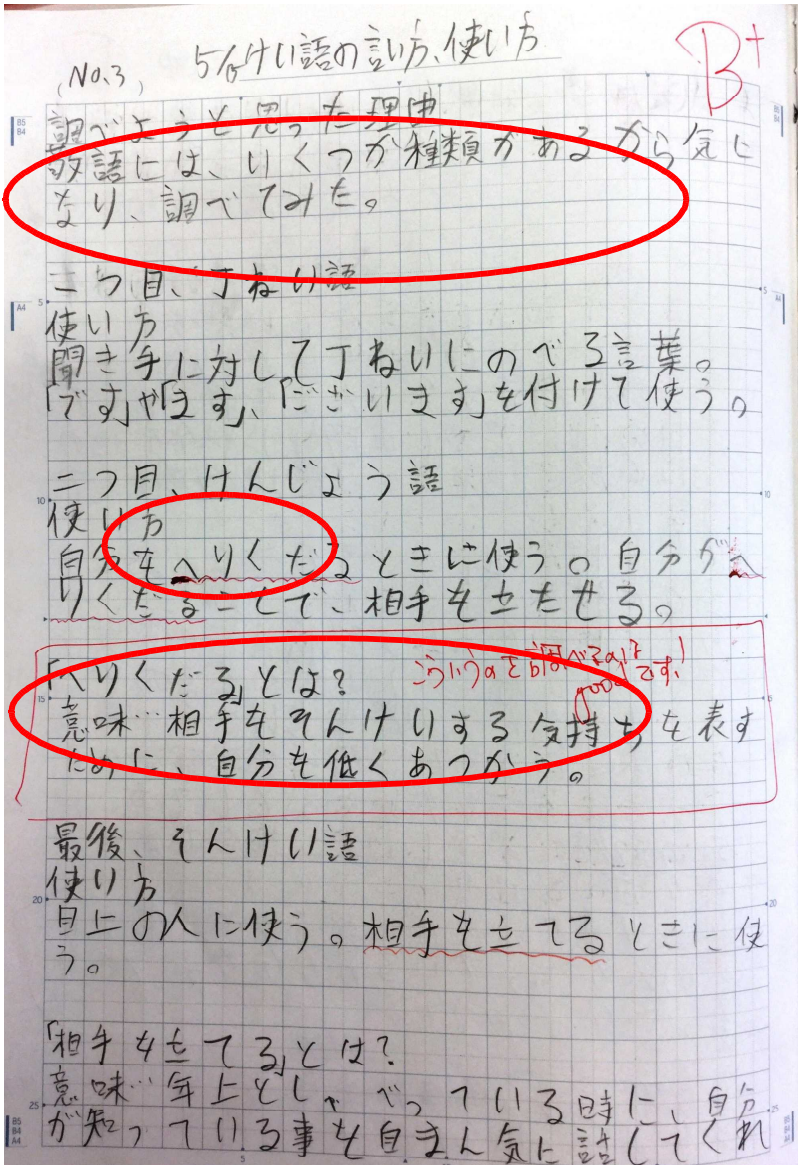
と、このように、「分かったこと＝気付き」から、「なぜ？どうして？」と考えて、それについて実際に考えてみたり、調べてみたりすることが「行動する」につながります。

こうして、常に気付き、考え、行動するということをスパイラルに繰り返すことで、学ぶ意欲や、考える力がつくのではないのでしょうか。

# こんな取り組み、いいですね！

子どもたちは、5月に入り、何度か「自学ノート」の取り組みを続けています。子どもたちの取り組みにはA B C Dで得点をつけて返しています。(見てみてください)

そんな中、「気付き、考え、行動する」すばらしい取り組みがありましたので紹介したいと思います。



OKさんの、ある日の自学ノートです。

テーマは、「敬語の言い方、使い方」です。現在国語の時間では「敬語」について学習しています。しっかりと、学校での学びと関連付けて取り組んでいることがわかります。

そして、謙譲語の使い方を調べてみると、「自分をへりくだる」と書いてあったようです。

その「へりくだる」という言葉の意味が分からなかったOKさんは、

「へりくだる」とは？

と、項目を立てて、その意味「相手を尊敬する気持ちを表すために、自分を低くあつかう」と、意味を調べています。

気付く＝敬語の使い方を調べる  
考える＝「へりくだる」って何だろう？

行動する＝調べてみよう！

という一連の学習ができています！

こうした普段の学習から生まれた「？」を追究する自主学習は、まさにOKさんにとって、「意味のある学び」であったのだと思います。どうせしなければならない学習であれば、意味のある学習をしてもらいたいと思います。

考えてみると、普段の生活の中や各教科の学習の中にも「？」はたくさんあると思います。そして、子どもたちは毎日の学習の中で、たくさんの方に気付くことができます。実際に授業の振り返りや、感想発表では、「〇〇が分かりました」「〇〇だと思います」と、たくさんの方の気付きを伝えてくれます。そこから「なぜ?」「どうして?」「どうしたら?」と考えることができると、次の学びが生まれてくると思います。簡単なことではないかもしれませんが、しかし、一度この学び方が身に付けば、次々と学びが広がり、教科書で習っただけではない、真の学力が身に付いていくのではないかと思います。

ご家庭でも、ぜひ、「なぜ?」「どうして?」という問い返しを大切に、子どもたちの知的好奇心を育ててください。

子どもたちの素晴らしい学びを、これからも紹介していきたいです。